

ツキノワグマ外傷患者における

周術期気道管理の実態に関する単施設後方視的観察研究

1. 研究の対象

2021 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日に当院へ搬送され、ツキノワグマによる外傷（熊外傷）により全身麻酔下で手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

近年、秋田県ではツキノワグマによる人身被害が増加しており、顔や首に大きなけがを負って搬送される患者さんが増えています。このような顔や首のけがでは、手術の際に安全な呼吸の通り道を確保すること、たとえば気管に管を入れる処置などが難しくなることがあります。また、大量の出血への対応が必要になる場合もあります。しかし、ツキノワグマによる外傷患者さんの手術時に、どのような呼吸管理が行われ、どの程度難しかったのかについては、これまで十分に明らかになっていません。

本研究の目的は、過去の診療記録（カルテ）を調査し、ツキノワグマによる外傷患者さんの手術時に、どのような方法で呼吸の確保が行われたか、どれくらい難しかったか、また、出血量や輸血量がどのくらいであったか等を明らかにすることです。これにより、将来、同じような重症のけがを負った患者さんに対して、より安全で迅速な治療を提供するために役立つデータとなることが期待されます。

方法としては、対象となる期間に当院で治療を受けられた患者さんのカルテから、必要な情報を集計・解析します。この研究のために、患者さんに新たな検査や処置をお願いすることはありません。

研究実施期間：研究実施許可日～2027 年 9 月 30 日

試料・情報の利用及び提供開始予定日：2026 年 7 月 27 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、身長、体重、ケガの部位や重症度、病院到着時の血圧や脈拍などの状態、救急外来や手術室での呼吸確保の方法（管を入れた方法や回数など）、手術中の出血量や輸血量、集中治療室（ICU）の滞在日数 等

なお、収集した情報は研究用の番号を付けて管理し、解析や発表の際には氏名やカルテ番号など、患者さんを直接特定できる情報は使用しません。

本研究では血液などの「試料」は使用せず、「情報」のみを使用します。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

秋田大学医学部附属病院 麻酔科

担当者：堀越 雄太（研究責任者）

住所：〒010-8543 秋田県秋田市本道一丁目1番1号

電話：018-834-1111（代表）（内線：6175）麻酔科医局

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称：

国立大学法人秋田大学大学院医学系研究科

研究科長 宮腰 尚久